

翔

TOBU

№ 35

30 I, 1983

百万石蝶談会

HYAKUMANGOKU-TYÖDANKAI

金沢市菊水でミヤマカラスシジミを採卵

野中 勝

石川県のミヤマカラスシジミについては、古く岩間温泉から1成虫が記録され⁽¹⁾、近年、白峰村釈迦岳⁽²⁾、吉野谷村木滑⁽³⁾から死卵の確認がなされているにすぎない。

今回、金沢市菊水に於て、以下の如く生きていると思われる本種の卵を採集したので報告する。

金沢市菊水

1982年10月17日

16卵

卵は道脇の高さ1mほどのガケの上に生えた1m位の1本のクロウメモドキより得られた。

尚、菊水部落付近のオニグルミからは、多数のオオガシジミ卵が確認できたので合わせて報告しておく。

— 文献 —

- (1) 武藤 明 (1971) 石川むしの会特別報告 オ2号
- (2) 野中 勝 (1982) 翔 27号
- (3) 松井 正人 (1982) 翔 34号

富山県常願寺川岸のミヤマシジミの第1化の早い記録

吉村 久貴

富山県におけるミヤマシジミの周年経過については、詳しい調査がなされ、年、3(〜4)化であり、第1化は6月初旬と報告されている^{(1) (2)}

筆者は、松井氏、岩下氏と共に、本年(1982)第1化の比較的早

い個体を確認したので報告する。

1982年5月23日、中新川郡立山町地内常願寺川岸で、本年第1化と思われるミヤマシジミ数頭を確認した。本年は雪落けが早かったせいもあってか、予想より早い第1化の発生と思われる。いずれも新鮮な個体であったが、既に雌も確認された。うち数頭を岩下氏が採集した。

なお、本産地における食草はコマツナギであることは、既に判明している。

x1) 富山県におけるミヤマシジミの分布と生息 水野 透

AMICA vol.17 No.2 1-11 (1978)

x2) 富山県の昆虫

311-312 (1979)

医王山にてヒメキマダラヒカゲを採集

中西 重雄

これまで、医王山山麓では採集の記録がなかったヒメキマダラヒカゲを採集したので報告します。



1982年6月13日、天候はくもりで、あまり良い日ではなかったのですが、例によって一家そろって医王山へゼフなどを採集に出かけたのです。

が、あまり成果は良くなく子供達と重山道路の広場(のどき)あたりで、昼食をとっていた時のことです。

ふと、横の道端を見ると一匹の黒い小さな蝶が、薄暗い路上を低くヒラヒラ弱々しく翔んでいたのです。(標高約650m)

発生地はおそらく両脇の熊ヶサあたりだと思われます。

私などは、まだ蝶屋の駆出しなので、採集に出かければなんでも、かんでも採る方な

ので、たまたま、かわった？ものが採れたのではないかと思われま
す。

採集データ 1982年6月13日 金沢市医王山

ヒメキマダラヒカゲ	1♂	アサギマダラ	1♂
ウラクロシジミ	5♂	エゾミドリシジミ	2♂
アカシジミ	♀♀数	ウラギンヒヨウモン	1♂

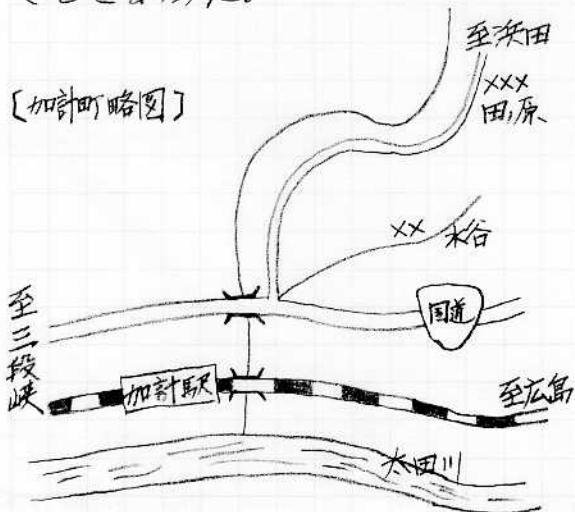
広島のウスバシロチョウ part II

吉岡 泉

今年も昨年に引き続き、広島県山県郡加計町にて、ウスバシロチ
ョウの採集を行なったので報告する。

昨年は5月25日と时期的にも遅かったため、今年は5月18日と1
週間早く加計へ行ってみたが、ギフチョウでもそうであったように
暖冬のためか発生時期が早かったようで、結局のところ半数はボロ
であった。しかし、今年は早に兎まれ、加計町田ノ原で13頭、水
谷で1頭採集することができた。

昨年報告した様に広島産の♀は、御存知の通り白化型であり、新
鮮な個体は金沢市およびその近郊のものに比べても著しく白い。*1
当然のことながら今年採集した♂も白かったが、意外だったのは
早の羽の色が黒いことであった。標本を見た吉村氏および写真*2
を見た松井氏も驚かれていたが、♀は白い紋が浮き上がったように
半分から外側は黒く、吉村氏の感想では、金沢産の♀より黒いとの
ことであった。



当日、天気は良く2地点（
田ノ原、水谷）での採集結果は
計40頭。このうち10頭は、松
井、嵯峨井両氏、10頭は吉村
氏、残り20頭は筆者が保管し
ている。

尚、下記の記録は筆者が保
管している分のみである。

採集データ

・加計町水谷 (1982.5.18)
ウスバシロチョウ 5♂ 1♀

○加計町田原 (1982. 5. 18)

ウスバシロチョウ	4♂♂	10♀♀
オナガアゲハ	2♂♂	1♀
ツマグロキチョウ	1ex	
コミスジ	1♂	
ヒメウラナミジャノメ	1♀	

*1) 広島県加計町のウスバシロチョウ

吉岡 泉 翔 29. (1982)

*2) 「広島県のチョウ」

中国新聞社刊 (1982)

白山でベニヒカゲの乱舞を目撃

吉村 久貴

1982年8月13日、白山殿ヶ池ヒュッテ上部の真砂坂で、無数のベニヒカゲの乱舞を目撃したので報告する。

前日は、N氏、O氏と共に室堂泊まり。御来光、朝食の後、快晴の中を下山を開始し「黒ホコ岩」より観光新道に入る。

「黒ホコ岩」より、やや下ったところで、ユ〜3頭のベニヒカゲを目撃。ミヤマキンポウゲ、ミヤマキンバイ、シナキンバイの咲く斜面を、上ったり下ったり、ヒラヒラと飛んでいた。

更に下り、殿ヶ池ヒュッテが眼下に見えるところに出た。あたりの斜面には、タカネマツムシソウ、ムクサンシャジン、シモツケソウ、イブキトラノオ、カライトソウなどが、乱れ咲いていたが、よく見るとベニヒカゲが無数に花の間を飛び回っている。

タカネマツムシソウで吸蜜しているものもいたし、汗で濡れたリズクヤ手ぬぐいにも吸水にやってきては、とまったりするものもいた。

フワフワ風に吹かれてみたり、草葉にもぐり込んで一瞬、姿を消したりするのが観察された。

個体はいずれも新鮮なものばかりで、殿ヶ池ヒュッテまでは、連続的に、多くのベニヒカゲが見られた。

別当坂上部まで、ポツリ、ポツリと、ゆ〜くり



飛ぶベニヒカゲの姿が見られたが、数的には、殿ヶ池ヒュッテ上部には、ほるか及ばなかった。

なお、1981年8月17日にも、甚、助ヒュッテ上部の南竜馬場に至る登山道で、花畑の中を飛んでいるベニヒカゲ数頭を確認している。

また、竹谷宏二氏の「石川県の蝶-9 ベニヒカゲ」ヒツクリばかり、No. 47 (1982)を参考にされたし。

能登地方における普通種、数種の記録

吉村 久貴

1982年9月5日、能登半島へ遊びに行った際に、富来町厳門ヒ、門前町猿山において普通種、数種を目撃したので報告しておく。

ほい ^{とき} ^厳 ^門
。羽咋郡富来町厳門

当日の厳門は、関西方面からの多数の観光客が来ていたが、ヤマボロと明らかにわかるアサギマダラ1exと、アオスジアゲハ1exを目撃した。両種とも海の上を沖に何って飛んだり、もどってきたりしていた。能登地方におけるアサギマダラの記録は稀と思われる。

ふげし ^改 ^せ ^る ^ま
。鳳至郡門前町猿山

猿山灯台付近を散策したが、ボロのジャノメチヨウ1♀と、ヒョウモン類のおそらくミドリヒョウモンと思われる個体1♂を目撃していた。また、1982年5月16日に、会員諸氏と共に確認したナンテンハギには、赤紫色の花が咲いていた。

ヒロコのYODAN part II

蝶のネクタイ

岩下 泰子

いつもは、男の子の如く山を駆け回るヒロコくんもたまには女の子らしく、街をぶらぶらウィンドウ、ショッピング♪

何気なくのぞいたショーウィンドウの中に、オント、蝶が舞っている……と思ったら、それは本物そっくりのネクタイの模様だったのです。

蝶談会の男性たちに、ぜひ見てほしくなるような、本物そっくり

に插かれています……。あまりに精密なので、店員さんにたずねたところ、本物を貼り付けたものだから……。なるほど。

使われている蝶は、イシガケキョウ、ヒョウモン、ミスジなどで、どちらかというとな配向き、お値段の方は、1万3,000円。

アイデアとしては、いいなーと思ったんだけど、配色とかデザイン的にあまりぱっとしないものばかり。

そこでヒロコくん、真っ黒な地色にクモマツマキを3、4頭使ってデザインすれば、目を見張るようなすばらしいものになるだろうな〜なんて空想したりして……。

でも、そんなネクタイができれば、いったいどの位の値段を付けたらいいのでしょうかね……。

とにかく、興味のある方、ヒマのある方、何かのついでに、ちょっと立ち寄って見たら？ 場所は、名鉄丸越1階、男性ネクタイ売り場です。(しねは行くけど、値はないかと思えますけど……)

順尾山ハッピー採卵記

岩下 泰子

向陽コンビは、1982年11月28日、メスアカミドリを求めて、金沢市順尾山へ伺いました。

思わぬ雪に少々不安になりながらも、今年初めて見る真白な雪の中を駆け抜ける気分は最高にすばらしく、あっけりと澄みわたった空の何こうに、水平線まで透けて見える景色も最高でした。

長靴がわりにナイロン袋を履かされて、ダブダブの防寒着を着せられた寒がりヒロコくんも、今日は頬にあたる寒風が、かえって心地良くて、純白の雪と、真青な空と、すばらしい景色と、そして……

とにかく、今日は最高にハッピー気分！ 卵もたくさん採れそうな予感がしていたのです。

木登り青年、松井マサトくんは、相変わらず、おサルさんの如くすばやく木に登り、枝を落としてくれました。

その枝から、さっそく、ジョウザン、タイセンが見つかり、そして本命のメスアカミドリは、何気なく折った最初の枝からすぐに1卵見つけることができました。山の上の行き止まりの何って左側に、すばらしい見られる背丈50cm位の小枝です。同じような枝から数卵採集することができました。

その他、少レ下った所では、おサルさんのマサトくん、いつの間

にか姿を消して、いつの間にか桜の枝を持って現れた——。

その枝からも、やっぱり数卵見つかり、ア〜今日は、やっぱりついでにいる+

その他、目の良いヒロコくん、がんばって見つけたミズイロオナガ、マサトくん、根性で登った高いミズナラから見つけたアイノ、その他、エゾミドリなど、なかなかの成績だったと思うので、す。

採卵データ 1982年11月28日 金沢市順尾山

メスアカミドリシジミ	17卵
ミズイロオナガシジミ	5卵
エゾミドリシジミ	1卵
アイノミドリシジミ	2卵
ダイセンシジミ	8卵
ジョウザンミドリシジミ	50卵

ウラジロガシを求めて小矢部川

松井 正人

1982年10月22日、快晴。いかにも、ウラジロガシのありそうな富山県小矢部川長瀬峡(ハトロキョウ)へ出かけたのであるが、思惑は大きくはずれて、ウラジロガシは全く見つかからない。どうしようもないので、クルミ・サクラ・ミズナラへと予定を変更したのである。長瀬峡は、刀利ダムを経て中河内より少し入った所から始まる延長約1.5kmの峡谷で、左岸の相当高い所を車道が通っている。ミズナラが主で、ブナが少し交っている。

まず最初に、長瀬峡をぬけて車道が川辺近くにあるあたりで、道路脇の高さ3~4mのオニグルミより手の届く所からオナガシジミを、いとも簡単に採卵し、こより長瀬を引き返し、道路脇谷側のひねくれたミズナラより全く木に登らずアイノなんを採ったり、絶壁のサクラを眺めては、メスアカを採ったりした。

メスアカを採卵するには、断崖絶壁にサクラだけがヒョロっとあるのが良く、今回このようなサクラを2本見つけて近年稀に見る大量旗をかかげてしまったのであるが、おしいことにこのサクラの木は、既にないのである。ちなみに長瀬峡の標高は450m付近である。

採卵データ 1982年10月22日 富山県西砺波郡長瀬峡

オナガシジミ 19卵 オニグルミ

メスアカミドリシジミ	24羽	サクラ sp.
アイノミドリシジミ	2羽	ミスナフ
その他のミドリシジミ	33羽	ミスナフ

P.S. 長静峡は金沢より約50分と比較的近く、行楽を兼ねて訪れるのも良いかと思われます。また、帰りに湯涌温泉で一風呂浴というのもよろしいかと。日増しにオジシキさくなる松井氏は考えています。

【シリーズ案内 & 書評】

第1回 信州の昆虫(松本むしの会編)

吉村久貴

本誌も今回をもって第35号ともなりましたが、“案内 & 書評”シリーズを始めることにしました。

長い間ムシをやっていると、いろいろ便利な採集用品や小道具、あるいは、すばらしい写真を交えた昆虫に関する書籍に出会うことはよくあります。

そこで、それらについての紹介を会員各位に執筆を依頼し、本誌上へ載せようとするのが、このシリーズであります。

別段、ムシに限ったことには限定しませんが、植物一般のこと、その他、おんでもかんでも他の会員の方に知ってもらったらと思うものについての投稿をお待ちしています。

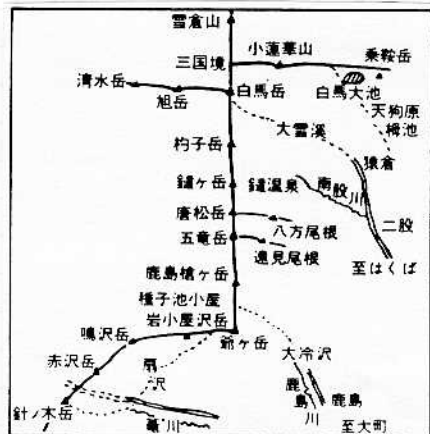


Fig.1 北の奥後立連峰の略地図 (P.21)

まず第1回めとして、1982年4月27日発行“ガイドブック 信州の昆虫”(松本むしの会編)について紹介します。

石川県内に住む会員の方々にとって、長野県は、石川県で採集できないムシを採集できるという点で非常に魅力的なところですが、本ガイドブックには、かなり詳しくこれらの分布・採集ポイントが紹介されています。

本の内容は、大別して3つの部分より成り立っています。

第1部は、メインとなる部分で

本の大部分が「さかれています」が、長野県全域を564所に区分し、それぞれ
の区域について、そこで見られる代表的なチョウ、ガ、カミキリ、ト
ンボなどが紹介されています。

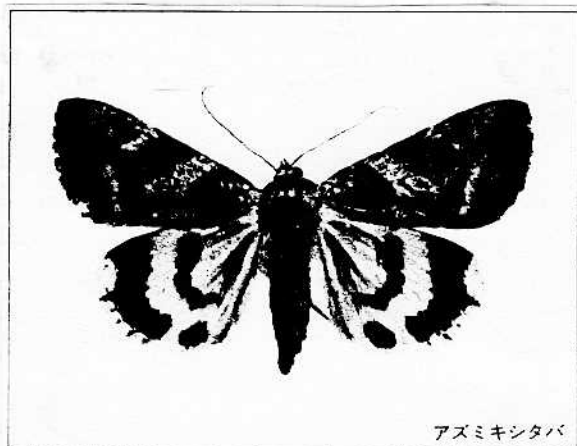


Fig. 2. 白馬村と新潟県魚沼見でしかみ
らないうアズミキシタバ (p. 20)

たくなる様な有名な場所、簡単な略地図 (Fig. 1) や、有名な昆虫の
生態写真・標本写真 (Fig. 2) も載せられています。また、それぞれの
場所を詳しく知るために必要な5万分の1の地図名も記されてい
るのが嬉しい配慮です。

オ2部は、法律、条例によって指定された保護地域や昆虫の種類
が記述されており、今まであまり見られなかったユニークな点であ
ると思われれます。

オ3部は、オ1部に出てくる生息分布を蝶類についてのみ、564所
すべてを表にまとめたものです。

また、これらの部分に先立って、ギフチョウ、ミヤマシロ、ミヤマモンキなどの
高山蝶、ベニモンカラス、オレシジミ、トンボ類の生態写真 (カラー8ページ
幼虫等も含む) が冒頭部に設定されています。

オ1部を熟読することが、今後の採集活動にとって、非常に有益
だと思ふのは、筆者だけではないと思ひます。

また、百万石蝶談会の発足にあたって「石川県のチョウ」という写
真を交えた単行本の発刊の機会がありましたが、本ガイドブックの分布
生息調査の細かさ、詳しくには充分勉強させられるところがありま
す。しかし、各蝶の生態写真については、ほとんど掲載されていな
い点、他の昆虫同好会から出されているものを参考にした方がよい
と思われれます。

詳しいデータは省かれていま
すが、大ざっぱな採集ポイント
が紹介されていますので、う
まく時期さえ当てれば、採
集者にとっては格好のガイ
ドブックと言えます。

しかし、乱獲、撲滅につ
ながる様で、手離しで考へ
ない様に思ひます。

本文は非常に平易な文章
で単なる分布だけではなく
食草についての言及もなさ
れており、こまめな調査の
成果が記されています。

それぞれのポイントは、ど
れをとっても、採集に行き

いずれにせよ、先程述べおられた様に、乱獲・撲滅につながる様な記述は避けつつも、レッカリとした分布の記録・生態写真を残した方が賢いのではないかと思います。

《蝶談会・例会の記録》

会会を開くという声が聞かれず、蝶談会はつぶれたのでは……と言われるのは困るので、幹事(?)の計らいにより久々例会を開催した。

1. 日時 1982.12.28 PM 4⁰⁰' ~ 12⁰⁰'
2. 場所 前田法典断、中西城瀬管工K.K内
3. 出席者 中西重雄・朱美夫妻・西評夫妻・井村正行・松井正人・岩下泰子・吉村久貴・吉岡泉・近藤征雄

竹登法に・嶺山井正即の12氏。

くくも、1982年の御用紙めという事で今年の10大ニュースは何か? ニュースは? 山アツは今年も残念山木? と驚かされた。今年BEST1は何にしても松井マサト君と岩下ヒロコ君との婚約が成立したことがあげられよう。…ツラヤシイ……
 個別に中西さんの事務所を利用して100近くは採水おたすが、遅くおしまい。(5)

目 次

金沢市南水でミヤマカラスジミを採卵	野中 勝	1
富山県常願寺川岸のミヤマジミの糸化の早い記録	吉村 久貴	1
医王山にてヒメキマダラヒカゲを採集	中西 重雄	2
石川県の上スバシロチョウ part II	吉岡 泉	3
白山でベニヒカゲの乱舞を目撃	吉村 久貴	4
能登地方における普通種・教種の記録	吉村 久貴	5
ヒコクのYODAN part II 虫蝶のネクタイ	岩下 泰子	5
順尾山ハッピー採卵記	岩下 泰子	6
マクシロガンを求めて小矢部川	松井 正人	7
【リス案内と書評】		
第1回 信州の昆虫(松本むしの会編)	吉村 久貴	8

翔 第 35	1983年1月30日(日)発行
発行： 金沢市三口新町4-9-33 松井正人方 百万石蝶談会	
校正編集： 吉村久貴	